

ラサール・グローバルREITファンド (毎月分配型)

データは2025年12月30日現在

ファンドの特色



世界各国の上場不動産投信(REIT)を中心に投資を行ない、比較的高い分配金利回りを安定的に獲得しつつ、中長期的な信託財産の成長をめざします。

不動産投信の メリット

- ①比較的高い安定した分配金利回りへの期待
- ②インフレに強いとされている
- ③少額から分散投資が可能
- ④相対的に流動性・換金性が高い
- ⑤専門家による運用

不動産投信のしくみ



不動産投信は、投資家から集めた資金などで不動産を保有し、そこから生じる賃料収入、売却益などが投資家に分配される商品です。一般的に、上場不動産投信は株式と同じように売買することができます。

不動産投信とは、不特定多数の投資家から資金を調達し、不動産の所有、管理、運営を行なうもので、REIT(=Real Estate Investment Trust)と呼ばれる場合があります。多くの不動産投信は、一定の適格要件を満たすことにより、法人税の課税が事実上免除されています。不動産投信に投資する投資家は、不動産などに投資して得られる収益の大半を受け取ることができます。不動産投信には上場しているものと、非上場のものがありますが、当ファンドは原則として各国の金融商品取引所に上場している不動産投信に投資します。

※世界各国の不動産投信の比較的高い分配金利回りを直接享受することを目的とするため、原則として為替ヘッジは行いません。
※市況動向および資金動向などにより、上記のような運用ができない場合があります。



原則として、毎月、安定した収益分配を行なうことをめざします。

- ・組入不動産投信の分配収益等を原資として、毎決算時に原則として安定した分配を行なうことをめざします。
- ・毎月5日(休業日の場合は翌営業日)を決算日とします。

※毎決算時に、分配金額は、委託会社が決定するものとし、原則として安定した分配を継続的に行なうことをめざします。なお、分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行なわない場合もあります。



ラサールインベストメント マネージメント セキュリティーズ エルエルシーが運用を担当します。

ラサール インベストメント マネージメント セキュリティーズ エルエルシーについて

- ・同社は、世界有数の総合不動産サービス会社の1つである「ジョーンズ ラング ラサール グループ」の上場不動産証券投資部門です。



投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。

したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

当資料は、投資者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

データは2025年12月30日現在

ラサール・グローバルREITファンド（毎月分配型）

設 定 日 : 2004年3月26日 償 還 日 : 無期限
 収 益 分 配 : 決算日毎 基 準 価 額 : 2,325円 純資産総額 : 2,472.55億円

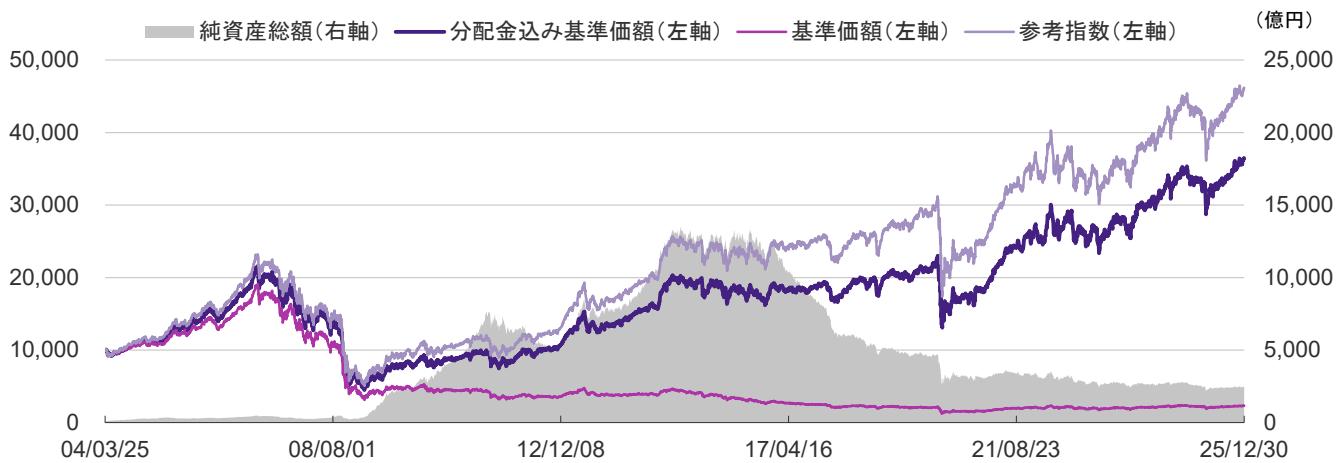
※当レポートでは基準価額および分配金を1万口当たりで表示しています。

※当レポートのグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

※当レポート中の各数値は四捨五入して表示している場合がありますので、それを用いて計算すると誤差が生じことがあります。

運用実績

基準価額の推移



※分配金込み基準価額は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金(税引前)を再投資したものとして計算した理論上のものである点にご留意下さい。※基準価額は、信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の値です。※上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を約束するものではありません。※基準価額および参考指標は、設定日の前営業日を10,000として指標化しています。※参考指標は、「S&P先進国REIT指数(税引後配当込み、ヘッジなし・円ベース)」です。参考指標は、ベンチマークではありません。※当参考指標に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はS&P社に帰属します。

基準価額の騰落率

	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年
当ファンド	0.14%	6.61%	12.91%	8.33%
参考指標	-0.65%	5.32%	12.29%	6.48%
	3年	5年	10年	設定未
当ファンド	46.71%	98.84%	88.16%	265.08%
参考指標	43.32%	84.64%	87.40%	361.85%

※基準価額の騰落率は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金(税引前)を再投資したものとして計算した理論上のものである点にご留意下さい。

※上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

分配金実績(税引前)

設定来合計	直近12期	25・1・6	25・2・5	25・3・5
11,575円	120円	10円	10円	10円
25・4・7	25・5・7	25・6・5	25・7・7	25・8・5
10円	10円	10円	10円	10円
25・9・5	25・10・6	25・11・5	25・12・5	
10円	10円	10円	10円	

※当該実績は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

資産構成比

不動産投信	97.8%
現金その他	2.2%

※マザーファンドの投資状況を

反映した実質の投資比率です。

※為替ヘッジ率:原則として

為替ヘッジは行ないません。

基準価額騰落の要因分解(月次)

前月末基準価額	2,332円	
当月お支払いした分配金	-10円	
計	キャピタル インカム	
要因	アメリカ	-5円 -11円 7円
不動産	カナダ	-1円 -1円 0円
投信	オーストラリア	3円 3円 0円
欧州	日本	0円 0円 0円
イギリス	その他	1円 0円 0円
日本	合計	-1円 -1円 0円
その他	米ドル	0円 0円 0円
合計	加ドル	-2円 -9円 7円
為替	豪ドル	3円 3円 0円
豪ドル	ユーロ	2円 2円 0円
ユーロ	ポンド	2円 3円 0円
ポンド	その他	0円 0円 0円
その他	合計	-4円 9円 0円
信託報酬その他	当月末基準価額	2,325円

※上記の要因分解は概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。傾向を知るための参考値としてご覧ください。

投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

当資料は、投資者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

データは2025年12月30日現在

ポートフォリオの内容

※マザーファンドの状況です。

※「不動産投信 国別上位投資比率」「不動産投信 通貨別上位投資比率」は、組入不動産投信時価総額に対する比率です。

※「不動産投信 セクター別構成比」「不動産投信 組入上位10銘柄」は、純資産総額に対する比率です。

不動産投信 国別上位投資比率

国名	比率
1 アメリカ	75.6%
2 イギリス	7.6%
3 カナダ	4.8%
4 オーストラリア	3.4%
5 日本	2.7%
6 フランス	2.2%
7 ベルギー	1.9%
8 シンガポール	1.1%
9 スペイン	0.6%
10	

不動産投信 通貨別上位投資比率

通貨名	比率
1 アメリカドル	75.6%
2 イギリスポンド	7.6%
3 カナダドル	4.8%
4 ユーロ	4.7%
5 オーストラリアドル	3.4%
6 日本円	2.7%
7 シンガポールドル	1.1%
8	
9	
10	

不動産投信 セクター別構成比

セクター名	サブセクター名	比率
分散型	分散型	3.9%
産業施設(工場等)	産業施設(工場等)	19.5%
ホテル＆リゾート	ホテル＆リゾート	1.9%
オフィス(ビル等)	オフィス(ビル等)	4.9%
ヘルスケア	ヘルスケア	15.1%
住宅(マンション等)	集合住宅	9.2%
小売(商業施設等)	一戸建て住宅	4.3%
特化型	小売(商業施設等)	15.5%
	トランクルーム	6.7%
	電波塔	1.2%
	データセンター	8.4%
	その他の専門不動産	7.3%

※分散型とは、複数のセクターの物件を併せ持つ不動産投信のことです。

組入不動産投信の予想分配金利回り(年率換算)

ファンド全体	4.28%
地 域 別	
アメリカ	4.11%
カナダ	4.73%
オーストラリア	3.41%
欧州	6.34%
イギリス	4.98%
その他	4.83%

※予想分配金利回りは、当社が信頼できると判断したデータに基づき、月末時点での各組入不動産投信の予想分配金利回りを、マザーファンドの純資産総額、または地域別の純資産額に対する各組入不動産投信のウェイトで加重平均した概算値です。信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)等は考慮されておらず、投資者の皆様の実質的な投資成果を示すものでも、将来得られる期待利回りを示すものではありません。

不動産投信 組入上位10銘柄 (銘柄数 57銘柄)

銘柄名	国	セクター	比率
1 WELLTOWER INC ウェルタワー	アメリカ	ヘルスケア	7.92%
2 PROLOGIS INC プロロジス	アメリカ	産業施設(工場等)	6.55%
3 EQUINIX INC エクイニクス	アメリカ	特化型	6.54%
4 SIMON PROPERTY GROUP INC サイモン・プロパティー・グループ	アメリカ	小売(商業施設等)	3.80%
5 PUBLIC STORAGE パブリック・ストレージ	アメリカ	特化型	3.70%
6 VENTAS INC ベンタス	アメリカ	ヘルスケア	3.32%
7 EQUITY RESIDENTIAL-REIT エクイティ・レジデンシャル	アメリカ	住宅(マンション等)	3.15%
8 GAMING AND LEISURE PROPERTIES ゲーミング・アンド・レジャー・プロパティーズ	アメリカ	特化型	2.74%
9 AMERICAN HOMES 4 RENT-A アメリカン・ホームズ4レント	アメリカ	住宅(マンション等)	2.57%
10 SEGRO PLC セグロ	イギリス	産業施設(工場等)	2.28%

※当該銘柄の売買を推奨するものではありません。

※銘柄名はアモーヴァ・アセットマネジメントが信頼できる情報を基に和訳したものであり、正式名称と異なる場合があります。

投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。

したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

当資料は、投資者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

データは2025年12月30日現在

運用コメント

※運用方針等は作成基準日現在のものであり、将来の市場環境の変動等により変更される場合があります。

◎市場環境

12月のグローバルREIT市場は下落し、年初来の上昇分を一部相殺する形で1年を締め括りました。グローバルREIT市場は、堅調なファンダメンタルズや米連邦準備制度理事会(FRB)による金融緩和姿勢にもかかわらず、苦戦を強いられました。AI関連の設備投資支出の増加やハイテク関連株の過熱感などを巡る懸念が引き続き意識される一方で、テクノロジーおよびAI関連株を含む株式市場全体の成長見通しが好感されました。

セクター別パフォーマンスは強弱まちまちとなり、年間を通じて低調だったいくつかのセクターが反発する一方で、好調だったセクターが勢いを失う展開となりました。冷凍冷蔵倉庫セクターは大幅に上昇しました。同セクターは厳しい事業環境の影響を受ける一方で、セクター内的一部の企業による戦略的取り組みやアクティビストとの協力協定締結などが好感されました。住宅セクターは2025年の大半において低調なリターンが続いたのち、12月には持ち直しました。学生向け賃貸住宅は低調推移から回復し、集合賃貸住宅および戸建賃貸住宅は業績の段階的な改善や資本配分の決定などが好感されました。分散型セクターおよび産業施設セクターはいずれも上昇し株式市場全体を上回りましたが、地域により強弱混在する展開となりました。オフィスセクターおよび特化型セクター(個人向け倉庫)は下落基調が継続し、株式市場全体を下回りました。ライフサイエンスセクターは短期的な事業環境の悪化が要因となり不振を示しました。ヘルスケアセクターは年初来の大幅上昇を受け、バリュエーションを巡る懸念や利益確定売りの動きが複合的に影響し大幅に下落しました。

米国REIT市場は下落しました(以下、地域別パフォーマンスは円ベース)。FRBの見通しがタカ派色を弱めハト派寄りになったにもかかわらず、テクノロジーおよびAI関連株を含む株式市場全体の成長見通しが好感されたことから、米国REIT市場はグローバルREIT市場全体を下回りました。

カナダREIT市場は上昇し、グローバルREIT市場全体を上回りました。

大陸欧州REIT市場は上昇し、グローバルREIT市場全体を上回りました。現地通貨ベースではパフォーマンスが鈍かったものの、ユーロ高に支えられる形となりました。セクター別では、ヘルスケアセクター、オフィスセクター、小売セクター(ショッピングモール)が好調でした。

英国REIT市場は上昇し、グローバルREIT市場全体を上回りました。インフレの緩和傾向の継続が好感されたほか、予算案発表後に財政状況を巡る懸念が後退したことなどが支援材料となりました。セクター別では、分散

型セクター、産業施設セクター、住宅セクター(学生向け賃貸住宅)が地域全体の好調を牽引しました。

豪州REIT市場は上昇し、グローバルREIT市場全体を上回りました。豪州準備銀行のタカ派姿勢による圧迫を経て、足元では産業施設セクター、特化型セクター(個人向け倉庫)、小売セクターの良好なパフォーマンスに支えられました。産業施設セクターは、欧州でのデータセンター開発をターゲットとした大規模なジョイントベンチャー立ち上げの発表が好感されました。特化型セクター(個人向け倉庫)は、National Storage REITが買収案に合意したニュースが支援材料となり上昇しました。

J-REIT市場は横ばいとなりましたが、グローバルREIT市場全体を上回りました。年初来のJ-REIT市場は、オフィス市場の改善を牽引した堅調なファンダメンタルズや、新政権による政策期待へのポジティブな反応により好調となりました。

香港REIT市場は下落し、グローバルREIT市場全体を下回りました。シンガポールREIT市場は上昇し、グローバルREIT市場全体を上回りました。

投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。

したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

当資料は、投資者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

データは2025年12月30日現在

運用コメント

※運用方針等は作成基準日現在のものであり、将来の市場環境の変動等により変更される場合があります。

◎運用概況

当ファンドでは、投資対象国とセクターの分散投資に努めポートフォリオのリスクをコントロールしつつ、より高いトータルリターンの達成を目指しています。

地域配分については調整を行いました。米国の強気幅を拡大し、シンガポールの弱気幅を縮小しました。日本および豪州の弱気幅を拡大しました。カナダおよび英国の強気配分、大陸欧州の小幅な強気配分、香港の小幅な弱気配分を維持しました。

◎今後の見通し

株式市場全体と比較した場合の割安な評価水準を背景に、グローバルREIT市場全体を取り巻く環境は引き続き概ね前向きであると考えます。

経済データの軟化や金融政策を巡る見通しの不透明感を織り込み、レンジ相場が続いている。金利の最終的な水準については不透明感が残るもの、ここ数年の大幅な引き締めを考慮すると、今後金融環境が市場への逆風になることは少なく、また追加緩和は不動産価値やREIT市場にとっての追い風になるものと考えます。

内部成長の観点から見ると、不動産ファンダメンタルズの見通しは堅調推移が見込まれ、また新規の供給水準が低いか減少傾向にあることは、経済活動が需要を牽引するのに十分な状態が続く限り、多くのセクターの好調推移を下支えするものと期待されます。外部成長の見通しは、資本コストの改善により向上しており、特定のセクターや企業では堅調さを維持しています。

バリュエーションの観点から見ると、グローバルREITは平均すると純資産価値(NAV)に対して小幅なプレミアム水準で取引される一方で、投資ユニバースのうちヘルスケアなど一部セクターを除く大部分においては引き続き大幅な割安感も見られます。不動産取引については様子見ムードが一服し活動再開の兆候が見られます。またグローバルREIT市場は、足元で回復局面を迎えており、株式市場全体との対比において、依然として割安であると考えます。

まとめると、グローバルREIT市場は相対的に魅力的な評価水準となっており、また堅調な期待リターンの実現が可能な株価水準を維持していることから、グローバルREIT市場に対する見通しは概ね前向きなものとなっています。

投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。

したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

当資料は、投資者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

データは2025年12月30日現在

ご参考情報

※「組入上位10銘柄の概要」は、個別銘柄の取引を推奨するものでも、将来の組入れを保証するものではありません。
※記載の見解等は、作成基準日現在のものであり、将来の市場環境の変動等により変更される場合があります。

組入上位10銘柄の概要

1 WELLTOWER INC / ウェルタワー

米国のヘルスケアセクターREIT。北米および英国で高齢者向け住宅、ポストアキュート医療施設や外来患者向け医療施設等のヘルスケア関連施設を保有。革新的なケア提供モデルを拡大し、人々のウェルネスと総合的な医療体験向上に必要な不動産インフラへの投資を行う。S&P 500指数の構成銘柄に採用される。

2 PROLOGIS INC / プロロジス

米国の産業施設セクターREIT。競合参入障壁が高く高成長が見込まれる物流セクターにおいて世界最大規模の物流施設ネットワークをグローバルに展開。各国の主要商業地域に有する先進的物流施設を通じ、BtoBやECを中心にテナントの幅広い需要に応える。優秀な経営陣、豊富な開発実績、盤石なバランスシートを持つ。

3 EQUINIX INC / エクイニクス

米国の特化型セクターREIT。グローバルにデータセンターを保有。顧客は世界のトップ企業、コンテンツプロバイダや通信事業者等。キャリアニュートラルを謳い顧客間相互接続を提供。新規開発の他、Verizon、Telecity、Infomart DallasやMetronode等同業の企業買収や資産取得を通じ規模拡大を図る。

4 SIMON PROPERTY GROUP INC / サイモン・プロパティー・グループ

米国の小売りセクターREIT。北米、欧州、アジア太平洋地域に郊外型ショッピングモール、プレミアムアウトレットモールの他、ダイニングやエンターテインメント等の複合施設を保有し、物件における多用途化や大型化を推し進める。S&P 100指数の構成銘柄に採用される。

5 PUBLIC STORAGE / パブリック・ストレージ

米国の特化型セクターREIT。米国内に広く個人向け倉庫を保有。また、欧州各国に個人向け倉庫をShurgardブランドで展開するShurgard Self Storageの株式を一部保有する。

6 VENTAS INC / ベンタス

米国のヘルスケアセクターREIT。北米および英国にヘルスケア関連施設を保有。ポートフォリオは高齢者向け住宅コミュニティのほか、外来患者向け医療施設やリサーチセンターなどから構成される。S&P 500指数の構成銘柄に採用される。

7 EQUITY RESIDENTIAL-REIT / エクイティ・レジデンシャル

米国の住宅セクターREIT。米国内に集合賃貸住宅を数多く保有。主にボストン、ニューヨーク、ワシントンD.C.、シアトル、サンフランシスコ、南カリフォルニア等の大都市圏に保有する他、デンバー、アトランタ、ダラス/フォートワース、オースティン等の市場にも進出し、富裕層の長期賃貸客を惹きつける。S&P 500指数の構成銘柄。

8 GAMING AND LEISURE PROPERTY / ゲーミング・アンド・レジャー・プロパティーズ

米国の特化型セクターREIT。ゲーミング施設および関連施設を保有し、トリプルネットリース契約に基づき運営。ポートフォリオは国内に十分な地理的分散が図られる。

9 AMERICAN HOMES 4 RENT-A / アメリカン・ホームズ4レント

米国の住宅セクターREIT。メリーランド州に本社を構える。米国内南東部、中西部、南西部、山岳西部地域に戸建て賃貸住宅を保有。

10 SEGRO PLC / セグロ

英国の産業施設セクターREIT。ロンドンおよびパリの証券取引所に上場。英国および欧州7か国的主要都市や主要な交通・デジタルインフラハブ都市に、大型物流施設、都市型倉庫やデータセンターなどからなる、高品質で持続可能なポートフォリオを構築。

投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。

したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

当資料は、投資者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

データは2025年12月30日現在

お申込みメモ

商品分類	追加型投信／内外／不動産投信
購入単位	販売会社が定める単位 ※販売会社の照会先にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
信託期間	無期限(2004年3月26日設定)
決算日	毎月5日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	毎決算時に、分配金額は、委託会社が決定するものとし、原則として、安定した分配を継続的に行なうことをめざします。 ※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
購入・換金申込不可日	販売会社の営業日であっても、下記のいずれかに該当する場合は、購入・換金の申込みの受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ・ニューヨーク証券取引所の休業日 ・ニューヨークの銀行休業日 ・オーストラリア証券取引所の休業日
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目からお支払いします。
課税関係	原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の差益は課税の対象となります。 ※課税上は、株式投資信託として取り扱われます。 ※公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合に少額投資非課税制度(NISA)の適用対象となります。 ※当ファンドは、NISA の対象ではありません。 ※配当控除の適用はありません。 ※益金不算入制度は適用されません。

手数料等の概要

投資者の皆様には、以下の費用をご負担いただきます。

<申込時、換金時にご負担いただく費用>

購入時手数料

購入時の基準価額に対し3.3%(税抜3%)以内

※購入時手数料は販売会社が定めます。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

※収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。

<ご参考>

(金額指定で購入する場合)

購入金額に購入時手数料を加えた合計額が指定金額(お支払いいただく金額)となるよう購入口数を計算します。例えば、100万円の金額指定で購入する場合、指定金額の100万円の中から購入時手数料(税込)をいただきますので、100万円全額が当ファンドの購入金額とはなりません。

※上記の計算方法と異なる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

(口数指定で購入する場合)

例えば、基準価額10,000円のときに、購入時手数料率3.3%(税込)で、100万口ご購入いただく場合は、次のように計算します。

$$\text{購入金額} = (10,000\text{円} / 1\text{万口}) \times 100\text{万口} = 100\text{万円} \quad \text{購入時手数料} = \text{購入金額}(100\text{万円}) \times 3.3\%(税込) = 33,000\text{円} \text{となり、購入金額に購入時手数料を加えた合計額} 103\text{万}3,000\text{円} \text{をお支払いいただくことになります。}$$

換金手数料

ありません。

信託財産留保額

ありません。

<信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>

運用管理費用
(信託報酬)

ファンドの日々の純資産総額に対し年率1.65%(税抜1.5%)

その他の費用・手数料

監査費用、組入有価証券の売買委託手数料、資産を外国で保管する場合の費用、借入金の利息および立替金の利息などがその都度、信託財産から支払われます。

※運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを表示することはできません。

※投資者の皆様にご負担いただくファンドの費用などの合計額については、保有期間や運用の状況などに応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。

したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

当資料は、投資者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

データは2025年12月30日現在

委託会社、その他関係法人

委託会社	アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社
投資顧問会社	ラサール インベストメント マネージメント セキュリティーズ エルエルシー
受託会社	みずほ信託銀行株式会社
販売会社	販売会社については下記にお問い合わせください。 アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社 [ホームページ]www.amova-am.com [コールセンター]0120-25-1404(午前9時～午後5時。土、日、祝・休日は除く。)

お申込みに際しての留意事項

○リスク情報

投資者の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様に帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に不動産投信を実質的な投資対象としますので、不動産投信の価格の下落や、不動産投信の発行体の財務状況や業績の悪化、不動産の市況の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

投資対象とする投資信託証券の主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】

・不動産投信は、不動産や不動産証券化商品に投資して得られる収入や売却益などを収益源としており、不動産を取り巻く環境や規制、賃料水準、稼働率、不動産市況や長短の金利動向、マクロ経済の変化など様々な要因により価格が変動します。また、不動産の老朽化や立地条件の変化、火災、自然災害などに伴なう不動産の減失・毀損などにより、その価格が影響を受ける可能性もあります。不動産投信の財務状況、業績や市況環境が悪化する場合、不動産投信の分配金や価格は下がり、ファンドに損失が生じるリスクがあります。

【流動性リスク】

・市場規模や取引量が少ない状況においては、有価証券の取得、売却時の売買価格は取引量の大きさに影響を受け、市場実勢から期待できる価格どおりに取引できないリスク、評価価格どおりに売却できないリスク、あるいは、価格の高低に関わらず取引量が限られてしまうリスクがあり、その結果、不測の損失を被るリスクがあります。

【信用リスク】

・不動産投信が支払不能や債務超過の状態になった場合、またはそうなることが予想される場合、ファンドにも重大な損失が生じるリスクがあります。

【為替変動リスク】

・外貨建資産については、一般に外国為替相場が当該資産の通貨に対して円高になった場合には、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。

※ファンドが投資対象とする投資信託証券は、これらの影響を受けて価格が変動しますので、ファンド自身にもこれらのリスクがあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

当資料は、投資者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

その他の留意事項

- 当資料は、投資者の皆様に「ラサール・グローバルREITファンド(毎月分配型)」へのご理解を高めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認のうえ、お客様ご自身でご判断ください。

設定・運用は アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第368号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。

したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

当資料は、投資者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

データは2025年12月30日現在

販売会社

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

※下記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会		
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会
あかつき証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第67号	○	○	○
安藤証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第1号	○		
株式会社イオング銀行 (委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)	登録金融機関 関東財務局長(登金)第633号	○		
株式会社池田泉州銀行	登録金融機関 近畿財務局長(登金)第6号	○		○
池田泉州T T証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第370号	○		
今村証券株式会社	金融商品取引業者 北陸財務局長(金商)第3号	○	○	
岩井コスモ証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第15号	○	○	○
株式会社岩手銀行	登録金融機関 東北財務局長(登金)第3号	○		
株式会社S M B C銀行 ※右の他に一般社団法人投資信託協会にも加入	登録金融機関 関東財務局長(登金)第653号	○	○	○
S M B C日興証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2251号	○	○	○
株式会社S B I証券 ※右の他に一般社団法人日本S T O協会にも加入	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第44号	○		○
株式会社S B I新生銀行 (委託金融商品取引業者 株式会社S B I証券) (委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)	登録金融機関 関東財務局長(登金)第10号	○		○
株式会社大垣共立銀行	登録金融機関 東海財務局長(登金)第3号	○		○
OK B証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第191号	○		
岡三証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第53号	○	○	○
おかやま信用金庫	登録金融機関 中国財務局長(登金)第19号	○		
おきぎん証券株式会社	金融商品取引業者 沖縄総合事務局長(金商)第1号	○		
株式会社沖縄銀行	登録金融機関 沖縄総合事務局長(登金)第1号	○		
株式会社鹿児島銀行 (委託金融商品取引業者 九州F G証券株式会社)	登録金融機関 九州財務局長(登金)第2号	○		
岐阜信用金庫	登録金融機関 東海財務局長(登金)第35号	○		
九州F G証券株式会社	金融商品取引業者 九州財務局長(金商)第18号	○		
京銀証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第392号	○		
株式会社京都銀行	登録金融機関 近畿財務局長(登金)第10号	○		○
株式会社京都銀行 (委託金融商品取引業者 京銀証券株式会社)	登録金融機関 近畿財務局長(登金)第10号	○		○
京都信用金庫	登録金融機関 近畿財務局長(登金)第52号	○		
極東証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第65号	○		○
株式会社さっぽし銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第53号	○		○
株式会社さっぽし銀行 (委託金融商品取引業者 きらぼしライフケアデザイン証券株式会社)	登録金融機関 関東財務局長(登金)第53号	○		○
きらぼしライフケアデザイン証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第3198号	○		
ぐんぎん証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2938号	○		
株式会社高知銀行	登録金融機関 四国財務局長(登金)第8号	○		
株式会社佐賀銀行	登録金融機関 福岡財務局長(登金)第1号	○		○
株式会社三十三銀行	登録金融機関 東海財務局長(登金)第16号	○		
J Tロストゴローバル証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第35号	○	○	
株式会社静岡銀行	登録金融機関 東海財務局長(登金)第5号	○		○
株式会社七十七銀行	登録金融機関 東北財務局長(登金)第5号	○		○
七十七証券株式会社	金融商品取引業者 東北財務局長(金商)第37号	○		
十六T T証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第188号	○		
株式会社常陽銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第45号	○		○
スルガ銀行株式会社	登録金融機関 東海財務局長(登金)第8号	○		
ソニー銀行株式会社 ※右の他に一般社団法人日本S T O協会にも加入	登録金融機関 関東財務局長(登金)第578号	○	○	○
株式会社第四北越銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第47号	○		○
大和証券株式会社 ※右の他に一般社団法人日本S T O協会にも加入	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第108号	○	○	○
株式会社千葉銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第39号	○		○
株式会社千葉興業銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第40号	○		
東海東京証券株式会社 ※右の他に一般社団法人日本S T O協会にも加入	金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第140号	○	○	○
株式会社東京スター銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第579号	○		○
東洋証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第121号	○		○
株式会社トマト銀行	登録金融機関 中国財務局長(登金)第11号	○		
株式会社南都銀行	登録金融機関 近畿財務局長(登金)第15号	○		

投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。

したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

当資料は、投資者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

※下記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。

金融商品取引業者等の名称	登録番号	日本証券業協会	加入協会		
			一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社西日本シティ銀行	登録金融機関	福岡財務支局長（登金）第6号	○	○	
西日本シティTT証券株式会社	金融商品取引業者	福岡財務支局長（金商）第75号	○		
日産証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第131号	○	○	○
野村證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第142号	○	○	○
株式会社八十二銀行 (委託金融商品取引業者 八十二証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長（登金）第49号	○	○	
八十二証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第21号	○	○	
浜銀TT証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第1977号	○		
株式会社肥後銀行	登録金融機関	九州財務局長（登金）第3号	○		
株式会社肥後銀行 (委託金融商品取引業者 九州FG証券株式会社)	登録金融機関	九州財務局長（登金）第3号	○		
ひろぎん証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長（金商）第20号	○		
広島信用金庫	登録金融機関	中国財務局長（登金）第44号	○		
P a _ P a y銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長（登金）第624号	○	○	
碧海信用金庫	登録金融機関	東海財務局長（登金）第66号	○		
株式会社北陸銀行	登録金融機関	北陸財務局長（登金）第3号	○	○	
株式会社北海道銀行	登録金融機関	北海道財務局長（登金）第1号	○		
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第164号	○	○	
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第165号	○	○	○
株式会社みずほ銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第6号	○	○	○
みずほ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第94号	○	○	○
みずほ信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長（登金）第34号	○	○	
株式会社三井住友銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第54号	○	○	○
三井UFJ eスマート証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第61号	○	○	○
水戸証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第181号	○	○	
株式会社南日本銀行	登録金融機関	九州財務局長（登金）第8号	○		
mo _ mo _ o証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第3335号	○	○	
株式会社武蔵野銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第38号	○		
株式会社山梨中央銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第41号	○		
株式会社U_I銀行 (委託金融商品取引業者 きらぼしライフデザイン証券株式会社) (オンラインサービス専用)	登録金融機関	関東財務局長（登金）第673号	○		
UBS_Sumitomo TRUSTウェルス・マネジメント株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第3233号	○	○	
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第195号	○	○	○
イエム証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長（金商）第8号	○		

投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。

したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

当資料は、投資者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

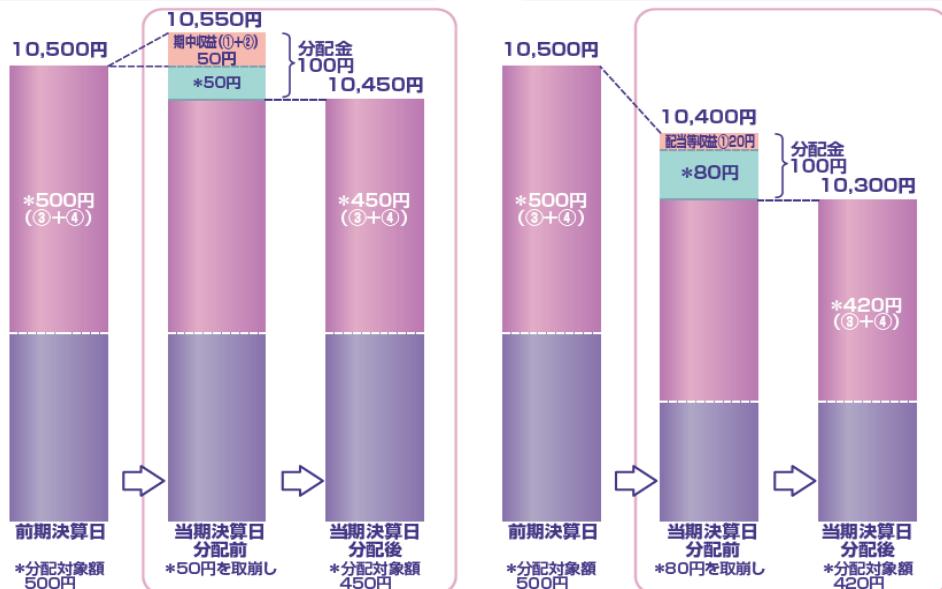
投資信託で分配金が支払われるイメージ



- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算から基準価額が上昇した場合 / 前期決算から基準価額が下落した場合



(注)分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

※上記はイメージであり、将来の分配金の支払いおよび金額ならびに基準価額について示唆、保証するものではありません。

- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部戻しに相当する場合

分配金の全部が元本の一部戻しに相当する場合



※元本戻し金(特別分配金)は実質的に元本の一部戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本戻し金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

- 普通分配金：個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。
- 元本戻し金：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、(特別分配金) 元本戻し金(特別分配金)の額だけ減少します。

投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。

したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

当資料は、投資者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。